

福井市公正入札調査等委員会の開催概要について

このことについて、令和元年度福井市公正入札調査等委員会（第3回）を開催しましたので、その概要をお知らせします。

記

- 1 日 時 令和2年2月7日（金） 10：00～11：40
- 2 場 所 福井市役所 第1委員会室
- 3 出席委員 委員4名
- 4 議事次第
 - (1) 開会
 - (2) 議題
 - ・入札及び契約手続きの運用状況の報告
 - ・抽出事案審議
 - (3) その他
 - (4) 閉会
- 5 会議概要
 - (1) 入札及び契約手続きの運用状況の報告（令和元年8月1日～11月30日）
 - ・契約件数、請負率の状況について説明(契約課)
 - (2) 企業局の入札及び契約手続きの運用状況の報告（令和元年8月1日～11月30日）
 - ・契約件数、請負率の状況について説明(経営管理課)
 - Q 企業体の指名停止は、どの範囲まで及ぶのか。
 - A 同じ企業体で新たに契約を締結したり、施工中の工事に新たに追加工事をすることはできない。
 - (3) 抽出事案審議
 - ア 審議事案1
 - R元公6号 今市污水管布設工事（条件付一般競争入札）
 - Q 32者が申請し、応札したのは1者のみである。残りは辞退したが、何か理由があるのか。
 - A 年度後期の工事であるため、すでに手持ちの工事があり現場に資格者を配置できない。また、降雪が多い場合工期内に完成するのが難しいということで入札を見送った業者が多かったと考える。
 - Q 応札した業者の請負率が100%だが、問題はないのか。
 - A 冬期間の工事を工期内に完成させるために、下請け業者を入れた経費が掛かる。また、通学路であるため安全管理の経費も掛かる。そのような経費を積み上げて見積もった結果、たまたま設計額と同額で応札した業者だけが残ったと思われる。

Q 業者に辞退の理由や請負率 100%の理由を聞き取りしたのか。また、辞退をするとペナルティはないのか。

A 入札不調になれば聞き取りをする。辞退によるペナルティはない。

イ 審議事案 2

林道開設工事（安居 1 号線）（条件付一般競争入札）

Q 山間部の工事で工期を降雪期にしたのはなぜか。

A 当初は 7 月に発注したが応札がなく、入札参加要件を緩和した。今回は 3 回目の発注であるため、この時期になった。

Q 応札者が少ないのは、どのように分析しているのか。

A 現場が山間部なので現場まで時間が掛かり、資材を運搬するのに費用が掛かるため、応札者が少ないと思われる。

ウ 審議事案 3

東安居団地 F 棟新築給排水衛生設備工事（条件付一般競争入札）

Q 東安居団地 F 棟新築工事について、「建築一式」・「給排水設備」・「電気設備」と分割して発注しているが、JV にしないのか。JV にした場合のメリット・デメリットは何か。

A 中小企業に対して受注の機会の増大を図るため分割している。また、今回のような異業種の場合、JV の実績はあまりない。メリットは、経費的に安くなる可能性があり、元請けになるところが 1 つなので責任が明確になる。デメリットは、中小企業の受注機会が減少し、また、各構成員間の調整が必要になる。

エ 審議事案 4

水整 023 九頭竜原目送水管布設（第 6 工区）工事（条件付一般競争入札）

Q 約 6,700 万円の工事で 6 者が応札しているが、3 者が 6,600 万円弱で、他の 3 者が 6,360 万円辺りで入札している。3 者間に差はなく、2 つの塊に 200 万円の差があるが、その差はどこにあるのか。また、応札時に送られた内訳書を精査するのか。

A 水道工事は材料費の割合が高く、業者が適正に見積もって応札した金額がたまたまそうなったと思われる。また、入札時に細かい積算内容は分からない。

オ 審議事案 5

企施 16 九頭竜浄水場第 2 電気室電気設備更新工事（総合評価落札方式）

Q 総合評価方式で 1 者しか応札がなかったが、複数の JV が入る見込みはあったのか。

A 代表者と構成員となり得る要件を持った業者を組み合わせると 42 通りある中で、複数に参加すると見込んでいた。

Q 資格要件が細かいのはなぜか。

A 既設の施設を運用しながら水道をすべて止めずに行うため、細かな計画と不測の事態に対処できる経験と実力が必要である。

(4) その他

管工事における入札状況の報告

管工事の入札について、今後も引き続き調査する。